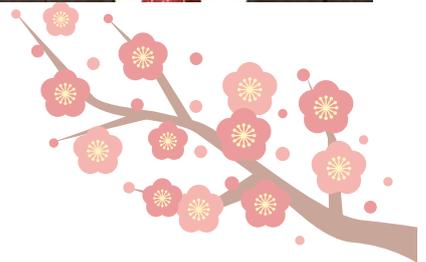


新年 あいさつ



幌延町長 野々村 仁

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに令和2年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から町政の運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。昨年、平成の時代が終わり、新しい令和の時代が始まる歴史的な節目の年でありました。昭和が終わり、平成が始まったのがついこの前のように感じられますが、いつの間にか30年という月日が

流れていきました。好景氣、いわゆるバブル景氣とその崩壊、東日本大震災をはじめとした大規模な自然災害の発生、人口減少・高齢化社会への突入、インターネットやスマートフォンなどの急速な普及など、人々の営みや価値観が大きく変化した激動の時代であったように感じられます。

さて、昨年12月のことになりませんが、本町において震度4の地震が発生いたしました。幸いにもけが人や被害の発生、ライフラインへの影響などはありませんでしたので、ひとまず安堵しているところですが。

近年の異常気象による自然災害は日本各地で頻繁に発生していることもあり、もはや想定外の出来事とは言えない状況です。いつ発生するか分からない自然災害に対しては、日ごろの備えが重要です。しっかりとした防災対策を講じる必要があると強く実感しております。

これに対し、今月からは皆様のご自宅などに設置してありますIP告知端末機の取り替え作業が始まります。新しい告知端末システムは従来の機能のほか、専用アプリをダウンロードすることにより、スマートフォンでも配信情報を受信することができ、様々な場面で活用されますことを期待しております。

このほかにも、町民の皆様が快適に安心して暮らしていけるよう中長期的な視点で公共施設などの老朽化対策や長寿命化を進めるとともに、多様な様々な行政課題に対応してまいります。

日本原子力研究開発機構から三者協定第7条の規定に基づき、事前協議の申し入れがありました。「令和2年度以降の幌延深地層研究計画案」につきましては昨年、町民皆様のご支援と町議会議員の方々の総意により、受け入れることを表明いたしました。

そして今年、「第六次幌延町総合計画」および「次期総合戦略」を策定し、新たなまちづくりを計画的かつ総合的に進めていきますので、町民の皆様には温かいご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆様にとって夢と希望、そして幸せに満ちた素晴らしい年となりますようご祈念申し上げますとともに、幌延町にとっても、更なる飛躍の年となりますことを念願し、年頭のごあいさつといたします。

令和2年元旦